

- 地域医療支援病院
- 救命救急センター
- 周産期母子医療センター
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- がんゲノム医療連携病院
- 神奈川 DMAT 指定病院
- 神奈川県災害医療拠点病院
- DPC 特定病院群
- 病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)



# れんけい だより

Vol. 79

国家公務員 横須賀共済病院 広報誌  
共済組合連合会

## 形成外科 北村先生より挨拶

お世話になりました。  
2005年4月から横須賀共済病院で勤務しておりましたが、この度一身上の都合で2023年9月30日をもって退職となりました。  
在職中は連携医療機関の先生方には数々のご指導頂き心より感謝申し上げます。  
学生時代から大好きだった三浦半島での勤務は、忙しいながらもとても楽しく充実した日々でした。連携医療機関の先生方から日々学ばせて頂き、かけがえない経験をさせていただきました。  
横須賀共済病院は退職いたしますが、地域の医療に貢献したい思いは強く、今後も何らかの形で先生方とはご縁を頂ければと思っております。  
後任には柏木 慎也医師が10月より赴任致します。引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。



横須賀共済病院 形成外科部長 北村 理絵子

## 退職医師

- |                |                   |                 |                |
|----------------|-------------------|-----------------|----------------|
| 2023年8月31日付    | 2023年9月30日付       | ■ 整形外科 … 宮本 峻平  | ■ 産婦人科 … 丸岩 希望 |
| ■ 耳鼻咽喉科 … 森 義明 | ■ 外科 … 北本 真悠      | ■ 形成外科 … 北村 理絵子 |                |
|                | ■ 麻酔科 … 廣田 真、山崎 遥 |                 |                |

## 理念

よかった。  
この病院で

患者さん・家族・職員  
すべての人が安心できる  
病院をめざします

## 編集後記

秋麗しゅうれいという秋晴れの心地よい気候で、外へ出て散歩をしたくなります。  
秋の花というと「コスモス」などが浮かびますが、コスモスは江戸末期から明治にかけて海外から渡来したといわれています。秋に咲く花で桜の花びらと似ていたことから「秋桜あきぼくら」と名づけられたそうです。かわいらしい花と細くて柔らかな印象の葉が風に揺らぎ、ゆらゆらと揺れる様子は心穏やかになります。皆さまに、穏やかな時間が刻まれていることを願っています。  
今後とも、横須賀共済病院とれんけいだよりをよろしくお願いいたします。  
地域連携室 宮坂・加藤

国家公務員共済組合連合会  
**横須賀共済病院**  
〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16  
TEL 046-822-2710(代表) FAX 046-825-2103(代表)  
地域連携センター地域連携室  
TEL 046-827-1117(直通) FAX 046-823-5020(直通)

## YKH れんけいだより Vol.79

発行日：2023年(令和5年)11月24日  
編集：地域連携センター地域連携室

# 病院まつり 開催!

## CONTENTS

部長就任のご挨拶 形成外科	…… P 2
ベトナム国との国際交流事業	…… P 3
病院まつりを開催しました!	…… P 4
診療科部長に聞く	…… P 6
第38回 救命救急症例検討会	…… P 8
TOPICS	
医療従事者研修会	…… P 8
地域医療研修	…… P 10
医療機関訪問	…… P 11

# 部長就任のご挨拶

Greeting of chief director assumption



Profile

形成外科 部長

柏木 慎也

*Shinya Kashiwagi*

出身校 福岡大学 平成10年(1998年)卒

専門分野 形成外科一般  
皮膚腫瘍  
軟部腫瘍

認定資格 形成外科専門医・指導医  
美容外科専門医  
熱傷専門医  
外科専門医・指導医  
がん治療認定医

「この病院に来てよかった」と思われる診療を目指しています。

2023年10月より北村理絵子部長の後任として着任しました柏木慎也と申します。形成外科は体表を扱う科で外傷、皮膚腫瘍、先天異常など見た目と機能の両方を扱う科です。他の科の困っていることに少しお手伝いすることも得意です。大学病院では皮膚悪性腫瘍と再建を主に取り組んできました。形成外科一般はもちろん外傷等の救急疾患、眼瞼下垂等の慢性疾患など幅広く診療させていただきます。横須賀・三浦医療圏の砦になれるよう精進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



## ベトナム国との国際交流事業



診療部長・脳神経センター長  
田中 良英

当院がベトナム国立バクマイ病院と協定を締結し、医療交流を開始してから早くも10年が経過しようとしております。現在ではバクマイ病院以外に中部のフエ中央病院、北部のエンバイ総合病院が加わり、三病院にまで交流範囲が発展しました。

この度、コロナ禍で3年近く中断していた初期研修医の病院研修を再開し、2名の二年目研修医を連れて訪越してきました。

現地の医療水準を知るだけでなく、彼らは日本をどう見ているのか、何を日本に期待しているのか、日本はアジアのリーダーとして何を成すべきか、など様々な想いを抱いた研修であって欲しいと願っています。

初期研修医2年 荒井 峻太郎

私はバクマイ病院では救急外来を研修致しました。ベトナムの病院は日本と異なり、初療の段階ではCTを撮影することがほとんどないため、身体所見血液検査・エコーで診断をつけていることがとても印象的でした。普段の救急業務では意識したことがないような身体所見をいくつも教えていただくことができ、非常に大きな学びとなりました。

初期研修医2年 長谷川 崇

この度9月21日～25日にベトナム・ハノイのBach Mai Hospitalにて病院研修をさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

病院に入つてまず驚いたことは、とても広いことでした。当院が740床であるのに対して、Bach Mai Hospitalは5倍近くの約3500床ものベッドを抱えているとのことでした。ERや脳卒中センターなどはそれぞれ独立した建物にあり、他にも売店や食堂などが広大な敷地の中に広がっていました。

私は産婦人科にて研修をさせていただき、日本との違いに驚きが多かった反面、似ている点も多々あり発見の多い有意義な研修となりました。この経験を今後の診療に活かしていきたいと考えています。



# 病院まつりを 開催しました!

令和5年  
9月16日(土)

祭

9月16日(土)「病院まつり」が4年ぶりに開催され  
当日は500名の方にご来場いただき、子供から大人まで多くの方々と病院職員との  
ふれあいの場となり、笑顔があふれる時間となりました。

「普段は見られない病院の機器を体験できてとても楽しかった」「病院を身近に感じる事が  
できた」などの感想が寄せられ、地域の皆さんと交流を深めることができました。

## 体験・展示コーナー



## キッズコーナー



## 特別座談会

テーマ 医療の未来を考える



横須賀市  
市長  
上地 克明

横須賀共済病院  
病院長  
長堀 薫

京浜急行電鉄(株)  
取締役会長  
原田 一之

衆議院議員  
小泉 進次郎

横須賀市医師会  
会長  
三屋 公紀

## 市民公開講座

テーマ 知ってほしい。脳卒中のあれこれ



横須賀南高等学校 吹奏楽部

ミニコンサート



# 診療科部長に聞く

第23弾

拡大版 呼吸器内科

## 呼吸器分野において、横須賀三浦地域を支えていきます

呼吸器内科 部長  
夏目 一郎

### Profile

#### 認定資格

日本内科学会 認定医・総合内科専門医・指導医  
日本呼吸器学会 専門医  
日本呼吸器内視鏡学会 専門医・指導医  
インфекションコントロールドクター  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本内科学会認定内科救急 JMECC インストラクター  
日本救急医学会認定 ICLS ティレクター  
身体障害者福祉法第 15 条指定医  
難病指定医 (呼吸器内科)

### 呼吸器内科のウリと地域の先生方へのメッセージをお願いします。

横須賀共済病院呼吸器内科は、現在スタッフ 9 名および化学療法科の坂下博之部長、非常勤医師 1 名で診療を行っています。

呼吸器内科では、肺癌を代表とする腫瘍性疾患、肺炎、肺結核等の感染性疾患、気管支喘息等のアレルギー疾患、他に慢性閉塞性疾患 (COPD)、間質性肺炎など様々な疾患に対応しています。昨今の医療の進歩はめざましいですが、常に当院において本邦で実施できる標準治療を提供できるよう努力しています。また呼吸器外科や放射線科、病理診断科と協力し、呼吸器病センターとして十分な診療機能を維持しています。それぞれ

の診療科の間の垣根は低く緊密に連携することにより、患者さんにより適した治療を提案しています。

私たちは、「横須賀三浦地域に過不足ない医療を提供する」という理念を診療目標の一つとして考えています。これは、ご開業の先生方との医療連携がなくては成り立って行かないと考えています。現在、健診での胸部異常陰影を指摘された方々を多数ご紹介頂き、肺癌の早期発見に貢献できていると思います。これからさらに一歩踏み込んだ連携が行っていきけるよう一層奮励努力致しますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 呼吸器内科医師インタビュー



副部長  
富永 慎一郎

平素より大変お世話になっております。地域の先生方におかれましては、日頃より患者様をご紹介いただき誠にありがとうございます。また、三浦半島の呼吸器内科医の減少により、これまでのような呼吸器診療の維持が困難になってきており、逆紹介などで迷惑をおかけしており申し訳ありません。  
当科は地域がん診療連携拠点病院として地域の肺癌・中皮腫診療にあたりつつ、びまん性肺疾患や閉塞性肺疾患などを中心に診療しています。  
今後とも引き続きご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

**専門領域**  
呼吸器一般  
**学会専門医資格**  
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医  
日本呼吸器学会 呼吸器専門医  
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医・気管支鏡指導医  
日本結核病学会 結核・抗酸菌症指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
**経歴**  
東京医科歯科大学医学部医学科  
平成 12 年 (2000 年) 卒



医長  
安田 武洋

横須賀三浦地域の呼吸器疾患で悩まれている患者様の一助となれるよう努めていく所存です。地域の先生方におかれましては、患者様のご紹介・フォローアップ等いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

**専門領域**  
呼吸器疾患一般、肺癌、間質性肺炎  
**学会専門医資格**  
日本内科学会 総合内科専門医・認定内科医  
日本呼吸器学会 呼吸器専門医  
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医  
**経歴**  
東北大学 平成 14 年 (2002 年) 卒



医長  
鴨志田 達彦

いつも大変お世話になっております。横須賀三浦地域の特徴として石綿肺や胸膜中皮腫等の患者さんも多く、日々勉強させていただいております。今後も少しでも地域の患者さんや先生方に貢献できればと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。

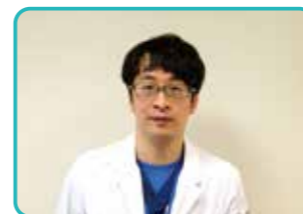
**専門領域**  
呼吸器内科  
**学会専門医資格**  
日本内科学会 認定内科医  
**経歴**  
東京医科大学 平成 25 年 (2013 年) 卒



医師  
細谷 龍作

平素より大変お世話になっております。呼吸器内科領域の疾患には肺炎や気管支喘息など日常診療でも関わる機会が多い疾患があり、患者さんそれぞれの生活にあった医療を提供するために地域の先生方との連携が不可欠であると考えております。患者さん方、先生方に信頼していただけるように誠心誠意とめます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

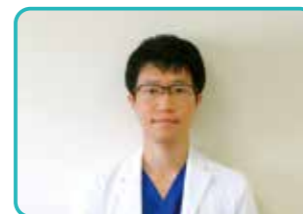
**専門領域**  
呼吸器一般  
**学会専門医資格**  
日本内科学会 内科専門医  
**経歴**  
東京医科大学 平成 28 年 (2016 年) 卒



医師  
泉 誠

平素より先生方から日々多くの患者を御紹介いただきありがとうございます。気管支喘息や COPD など慢性経過をたどる病気も多いため、地域の先生方との連携が重要なため、今後とも末永くよろしくお願い申し上げます。

**専門領域**  
呼吸器一般  
**学会専門医資格**  
日本内科学会 内科専門医  
**経歴**  
山梨大学  
平成 28 年 (2016 年) 卒



医師  
山本 遼

平素より大変お世話になっております。三浦半島は肺癌などの疾患数に比して呼吸器内科が少なく、地域の先生方と密に協力していくことが重要と感じております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

**専門領域**  
呼吸器一般  
**学会専門医資格**  
日本内科学会 内科専門医  
**経歴**  
東京医科歯科大学  
平成 28 年 (2016 年) 卒



医師  
熊谷 隆

日頃より患者様のご紹介・ご加療いただきましてありがとうございます。三浦半島の呼吸器診療をより発展させるべく、地域の先生方と密に連携していきたいと考えています。今後とも何卒よろしくお願いたします。

**専門領域**  
呼吸器一般  
**学会専門医資格**  
日本内科学会 内科専門医  
**経歴**  
東京医科歯科大学  
平成 29 年 (2017 年) 卒



医師  
山田 貴之

平素より地域の先生方には大変お世話になっております。日頃より患者様のご紹介、ならびに御加療の継続をいただきましてありがとうございます。地域の高齢化に伴い、呼吸器疾患をお持ちの患者様も増加傾向かと思っております。些細なことでもいつでもご紹介いただけますと幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

**専門領域**  
呼吸器一般  
**経歴**  
東京医科歯科大学  
令和 2 年 (2020 年) 卒

# 救命救急症例検討会

2023年10月3日に当院講堂にて、救命救急症例検討会を開催しました。

本検討会は、日頃の救急症例を題材に、救急隊病院前活動や搬送後病院治療を相互に提示し当該症例での問題点や、日々進歩する中での標準治療を検討する勉強会です。

症例  
1

## 搬送後心室細動を呈した ST 上昇型急性心筋梗塞の一例の症例

循環器内科 益本 寛之



横須賀市消防局 救急課 救急救命士 小野 優太



症例  
2

## CO2 ナルコーシスによる意識障害を契機に ALS の診断に至った 78 歳女性の一例

脳神経センター 脳神経内科 佐藤 紗也子



葉山町消防本部 第1救急隊 救急救命士 行谷 比呂



症例  
3

## 病院救命士がファーストレスポnderとして救急隊と活動した心肺停止の一例

救急科 救急救命士 平岩 竜之介



症例  
4

## 三浦半島地域 MC 体制について

横須賀市消防局 救急課 救急救命士 宇井 彰浩



今後も対面で、救急隊との情報共有の場としてこの会を続けていけたらと思っております。

# 医療従事者研修会

第2回  
研修会の開催報告  
2023年10月7日

第1部

## 高齢者への摂食嚥下ケア ～安全安心に食べられるために～



摂食・嚥下障害看護認定看護師  
菅米地 麻美

地域の皆様には平素何かとお世話になっており、またご多忙の中研修会にご参加いただきまして心から御礼申し上げます。

今回は高齢者の「むせ」へのケア方法についてお話させていただきました。高齢者はサルコペニア、オーラルフレイル、認知症など様々な要因で摂食嚥下障害になりやすい状況にあります。それらを予防するためにも食事を摂って栄養を補充することは欠かせません。しかし、実際には「むせ」がみられることで医療従事者も家族も食事に対して不安を抱いてしまうと思います。その「むせ」に対して、覚醒の援助や食事姿勢、口腔内環境、食事形態に関してどうアプローチしていけばよいのかという点をお話させていただきました。患者さんの身体や食事の様子を観察して、アセスメントすることが重要だと考えます。食事は人生の彩りであり、楽しみです。その楽しみをいつまでも持てるようなケアをしていくためにも、地域の皆様や多職種の皆様と協働していければと考えています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

第2部

## 摂食嚥下機能低下時の栄養補給 ～病院食の工夫と市販品の利用について～



管理栄養士・NST 専門療法士  
主任 野間 友紀

今回の医療従事者研修会はオンラインではなく、集合型での開催でした。お忙しい中、当院へ足をお運びくださった先生方、誠にありがとうございました。直接顔を拝見しながらお話ができ、とても嬉しく思いました。

今回は栄養補助食品等の具体的な使い方や違いについてもお伝えたく、サンプルをご用意させていただきました。「実際に食した事の無いものを患者さんに勧める違和感があった」という声もあり、一助になれば幸いです。

いわゆる名店のお料理であったとしても、美味しいと感じる方がいれば苦手と感じる方もいらっしゃると思います。いろいろな食品を知ることによって、栄養補給に困った時、フレイルリスクを感じた時、「この方にはどんなものを提案したら日々の生活に取り入れやすいか」を、より具体的に考えられるのではないのでしょうか。すべての食品を知る事はできませんが、このような機会に新たな発見や、横のつながりができれば大変嬉しく思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



左：三宅整形外科小児科クリニック 副院長 三宅 洋一 先生  
右：横須賀共済病院 初期研修医 2年 瀬崎 真帆

横須賀共済病院 初期研修医 2年 瀬崎 真帆

2023年9月に地域医療研修で外来に2週間に渡り帯同させて頂きました。

三宅整形外科小児科クリニックでは浦賀に根付いた地域医療を実践されたおり、整形外科的な骨折や創部の処置やフォローをはじめとして、慢性疼痛のコントロールから新型コロナウイルスの予防接種などまで幅広く研修させて頂きました。外来の中で、健康問題の難しさや患者さんとの信頼関係を築くことの大切さ、地域で活躍するすべての医療従事者の方のありがたさを実感することができました。

自分自身は今後、しばらく急性期の患者さんを中心に診療することとなりますが、患者さんの退院後生活まで考えた治療を行える医師を目指していきたいと考えました。

このような貴重な研修の機会を頂き、三宅先生をはじめとした三宅整形外科小児科クリニックの皆様にご場をお借りして深く御礼申し上げます。

## 三宅整形外科小児科クリニック

副院長 三宅 洋一 先生

9月19日から瀬崎 真帆先生が当院へ研修にいらっしゃいました。瀬崎先生は来年から整形外科に入局されるということで、当院では整形外科外来に同席していただきました。

瀬崎先生がいらした時期は外来が混雑しており、なかなか細かく説明しながらというわけにはいかなかったのが申し訳なかったなと思います。

それでも病院の外来ともまた違う医院の外来の状況を知る一助にはなったと思います。

当院整形外科の特徴といたしまして小児整形外科を標榜していることがあります。瀬崎先生にも小児特有の整形外科疾患をいくつか実際にご覧いただきました。

今後の瀬崎先生の整形外科医としてのキャリアの片隅に当院で学んだことが少しでもあれば幸いです。



新規開業 2023年7月10日

## 横須賀大津駅前クリニック

このたび、大津の地で歴史あるとづか内科クリニックを継承し、新しく横須賀大津駅前クリニックとして再出発させて頂くことになりました、院長の毛利 貴と申します。

消化器外科医として長年勤務をした経験を生かして、既存内科診療に加えて、内視鏡治療、外科診療につきまして微力ながら地域医療に貢献して参る所存です。

いつでも気軽に受診できるような暖かいクリニックを築いていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



院長 毛利 貴 先生

新規開業 2023年10月2日

## 衣笠駅前整形外科リハビリ・骨粗鬆症クリニック

2023年10月より横須賀市衣笠栄町にて開院しました院長の手塚 太郎と申します。私はこれまで主に横浜市立大学附属病院で、関節リウマチや変形性関節症などの関節疾患、骨折、骨粗しょう症、リハビリテーションを中心に、診療および研究活動に邁進して参りました。その中で手術が必要になる前の治療が非常に重要であると感じ、適切な治療を提供するために開業を志しました。

当院の強みは①大病院と同レベルの精度を有する骨密度測定装置 ②エコーを使用した疾患の評価とブロックによる治療 ③動注療法・収束型体外衝撃波など痛みの治療に特化した自由診療 ④100m<sup>2</sup>以上のリハビリ室での理学療法士による運動療法です。

患者様が「痛みなくニコニコ出来る生活」を送れるよう、誠心誠意お手伝いさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



院長 手塚 太郎 先生

